

場面 第1幕	第二稿		音数		No.	未定訳稿		音数		行	
	楽曲No.	役名	詞	小計		役名	詞	小計			
第1幕	1	歌群	この小暗き森に	9	1	オルフエウス	エウリヂケ。エウリヂケ。エウリヂケ。	8	1		
			エウリヂケ。汝が影	9		歌群	この暗き森に	8	2		
			墓の邊にゐば	7			汝が影今猶	8	3		
			聞けこの歌を。	8			墓の邊にあらば、	8	4		
			涙を、涙を見よ。流す涙を。	17			夫の聲を聴け、	8	5		
			棄てられし夫の泣くを。	11		(50)	泣き暮らす夫の。	8	(40)	6	
			哀と見よ。	6							
			傷ましと見よ。	7							
			亡き汝帰り来。	9							
			いたつきに惱めり。	9							
			来よや。	3							
			来て救えかし。	7							
		オルフエウス	エウリヂケ。エウリヂケ。エウリヂケ。								
	2	オルフエウス	友よ。	3							
			歎に痛こそ増せ。	11							
			薦めよ、亡き御魂に贅を今一度。	16							
			墓に蒔け、花を。	8							
	3	Pantomime	(器楽)								
	4	歌群	この小暗き森に	9							
			エウリヂケ。汝が影	9							
		墓の邊にゐば	7								
		聞けこの歌を。	8								
5	オルフエウス	涙を、涙を見よ。流す涙を。	17								
		皆住け。	4								
		墓の邊にをらばや。	9								
		なやみをのみ友として	11								
6	Ritornell	(器楽)									
7	オルフエウス	我はかこてり	7								
		曙に、	5								
		夕蔭に。	5								
		逝きし君よ。	6								
		我は呼べど答せぬ。	11								
		答せぬ。	5								
8	オルフエウス	エウリヂケ。エウリヂケ。	10								
		亡き魂。	4								
		今いづこ。	5								
		夫、我痛みて絶間なく汝をぞ呼べる。	19								
		神々、汝を返せ。	9								
		呼べども風に消さるる。	11								
		風に消さるる。	7								
9	オルフエウス	懐かしさに、	6		9	オルフエウス	喜なく	6	7		
		立ち別れし	6				たちもとほり、	6	8		
		岸にゐて、岸にゐて、	10				汝が墓に来てぞ俯す。	10	9		
		高く呼ぶ名ぞ	7				哀と聞き、	6	10		
		徒に	5				我に答ふ、	6	11		
		反響する、	5	(39)			木精さへ。	5	(39)	12	
		反響する、	5								
		反響する、	5								
10	オルフエウス	エウリヂケ。エウリヂケ。	10		10		エウリヂケ。エウリヂケ。	10	13		
		聞こえたる汝が名ぞ。	9	(19)			いづこゆも汝が名ぞ	9	(19)	14	
		呼ぶを森も聞きつ。	9								
		谷も聞きつ。老木の幹、	12				聞ゆる、谷ゆ山ゆ。	10	15		
		若木の小枝に、	8				エウリヂケよ。汝が名聞ゆ。	12	16		
		汝が名刻みつ。	7				木々の幹にぞ	7	17		
		エウリヂケ逝きぬ。	8	(35)			汝が名刻む、	6	(35)	18	
		我のみ生く、	6				残る我は、	6	19		
		神よ。君なくば、	8	(14)			汝、恋しきエウリヂケ。	10	(16)	20	
		吾も死なばや。	6								
11	オルフエウス (アリア)	袖ぞ濡るる、	6		11		とはに別れ、	6	21		
		夜明るるより、	6				ここに来居て、	6	22		
		暮るるまで、	5				去りあへず。	5	23		
		暮るるまで、	5				さざめく波	6	24		
		水は咽ぶ、	6				わが口真似す。	7	25		
		歎く我身打ちまねび、	11	(39)			憐めよ。	5	(35)	26	
		打ちまねび、	5								
		打ちまねび。(全集訳では略)	5								
12	オルフエウス (要Wien版対比)	心なのアヘロンの	10		12		心なの、アヘロンなる	11	27		
		荒神、	4				荒神、	4	28		
		力強き神、ブルトの仰せ	15				ブルトのまにま	7	29		
		いそしみて行ひ果たし、	12				いそしみて行果し	12	30		
		美しきも、	6				若きも、	4	31		
		若きも選ばず、	8				あてやかなるも、	7	32		
		はしき我(が)	5				あはれと見て、	6	33		
		妻を奪ひぬ。	7				奪ひぬれ、	5	34		
		悲しきかな。	6				エウリヂケをこそ。	8	35		
		妻を、盛の花を	9				盛の花	6	36		
		散らしつるよ、	6				散らされぬ。	5	37		
		荒き汝が手。	6				我に返せ。	6	38		
		情けなの神よ。	8				荒神よ。	5	39		
		我に返せ。	6				許多の	4	40		
		いでや、降らむ、	7				益荒雄のごと、	7	41		
		黄泉の岸に。	6	(121)			取り返さばやな、	8	42		
		我聲、我色和めむ、汝を。	15				黄泉の國ゆ、	6	43		

場面	第二稿		未定訳稿		音数	小計	No.	役名	詞	音数	小計	行
	楽曲No.	役名	詞	詞								
			去れ。 去れ。 歎よ。		8							
			くずをるべしや。		7							
			ををしくあらむ。		7							
			危さ(をば)避けじ。		7							
			黄泉に、いで、入らむ。		8							
			いでや、入らむ。		6							
			仇恐れめや。 群るる仇よ。		13							
			くずをるべしや。 群るる仇よ。		13							
			去れ。 去れ。 歎よ。		8							
			くずをるべしや。		7							
			ををしくあらむ。		7							
			群るる仇(よ)、仇よ。		8							
			去れ。 去れ。 歎よ。		8							
			くずをるべしや。		7							
			ををしくあらむ。		7							
			危さ避けじ。		7							
			黄泉に、いで、入らむ。		8							
			いでや、入らむ。		6							
			仇恐れめや。 群るる仇よ。		13							
			くずをるべしや。 群るる仇、仇よ。		15							
			※ 「危さ」が楽譜上では「あぶなさ」と読まれているが、それでは古語ではない。「あやうさ」ではないのか? -----									108
第2幕	18	FrienTanz	(器楽)									
	19	歌群	生けるながら		6		19	歌群	生けるながら	6		109
			黄泉に來しは 癡のものや。		12				黄泉に來ぬるは誰ぞ、	10		110
			恐れ知らで		6				恐ろしき境に	9		111
			來つよ。	(28)	4				來ぬるは。	4	(29)	112
	20	FrienTanz	(器楽)									
		歌群	生けるながら		6							
			黄泉に來しは 1のものや。		12							
			恐れ知らで		6							
			來つよ。		4							
			をのきや汝を		8		20		をのきや汝を	8		113
			襲はむ。		4				襲はむ、	4		114
			吠ゆる聲聞かば		9				門守ると、吠ゆる	9		115
			門守るケルベロスの。	(32)	11				ケルベロス聞かば。	8	(29)	116
	21	オルフェウス	あな。許せ。	(5)	5		21	オルフェウス	吾を憐め。	7	(7)	117
			許せ。吾を。		6							
			フリエ。 ラルレエ。	(7)	7				フリエよ。 ラルエエよ。	9	(9)	118
		歌群	否。 否。 否。									
		オルフェウス	猛き影。									
			思ひ遣らずや		7				あはれと思へ	7		119
			わがこの歎。	(14)	7				歎く我身を。	7	(14)	120
			思ひ遣らずや、									
			わがこの歎。									
			思ひ遣らずや、									
			わがこの歎。									
		歌群	否。 否。 否。									121
		オルフェウス	あな。許せよ。									
			あな。許せ。									
			許せ。吾を。									
			フリエ。 ラルレエ。									
			猛き影。									
			思ひ遣らずや、									
			わがこの歎。									
		歌群	否。 否。 否。									
		オルフェウス	フリエ。 ラルレエ。									
			猛き影。									
			思ひ遣らずや、									
			わがこの歎。									
			わがこの胸の、									
			わがこの歎。									
		歌群	癡の汝よ。		6			歌群	汝痴人、	7		122
			などか來つる。		6				などか來つる。	6		123
			闇と夜と、		6				此境は	6		124
			うめき、すめき、		6				恐の場、	5		125
			ここの場に		5				歎く聲と	6		126
			あるは是れ。		5				責との場。	5		127
			などか來つる。癡の汝よ。	(46)	12				などか來し、痴人。	9	(44)	128
			ここは堪へぬ恐の場。									
			ここは堪へぬ恐の場。									
			聞くは歎。									
			見るは血。									
			見るは血。									
		オルフェウス	憂き責、猛き影、		9			オルフェウス	責、脅かす影	9		129
			すべて身にもあり。		8				胸をぞ悩ます。	8		130
			内に黄泉あり。		7				胸に黄泉ありて	8		131
			炎身を燃やす。	(32)	8				その火ぞ燃え立つ。	8	(33)	132
			炎身を燃やす。									
		歌群	何の業ぞ。		6			歌群	何の業ぞ、	6		133
			憐まじと		6				憐まじと	6		134
			忍ぶ猛き		6				あらがうわが	6		135
			胸の憎和むる。	(28)	10				此憎和むるは。	10	(28)	136
		オルフェウス	わが色。 わが聲。		7			オルフェウス	死の神等免せ、	8		137
			動かさでやは。		7				我歎聞きて。	8		138

場面	第二稿		未定訳稿		音数	小計	No.	役名	詞	音数	小計	行
	楽曲No.	役名	詞	詞								
			汝を死の世より	常の世を出でて	7				8			206
			救ひぬ。	訪ひ来ぬ。	4				4			207
			わが泣くを憐み、	共に青空を、	9				8			208
			神汝を	照らす日を、地を	4				7			209
			帰らせつ。	又見まし。	5	(46)			5	(45)		210
		エウリチケ	あな。 われ生くと。	汝生く。 吾も。	7				7			211
			思はぬ幸よ。	言へ、何の手立にて。	7	(14)			10	(17)		212
		オルフェウス	続け。 エウリチケ。	オルフェウス	8				7			213
			帰らむ。	そは後にこそ。	4				7			214
			誓渝らぬ間に、	な問ひそ、今は。	9				8			215
			共に逃げ帰らむ。	疾く来。 恐をば	9				5			216
			亡き魂ならで、	遠ざげよ、	7				5			217
			変る期なき夫妻に	心より。	10				5			218
			なりてまし。	命得つ。	5	(52)			5	(42)		219
		エウリチケ	いかに。 現か。	エウリチケ	7				7			220
			あな。 嬉しさよ。	思ひも掛けぬ	7				6			221
			夫よ。 此誓は渝へじ、	幸なるかな。	7				10			222
			アモオル助けば。	さらば、君、ふたりまた	12	(34)			6	(29)		223
		オルフェウス	さはれ。 足早めずや。	夫婦たらむか。	8				7			224
		エウリチケ	さ云へど、など	オルフェウス	6				6			225
			手は取らぬ。	エウリチケ	5				5			226
			あな。 などわが背	さるをなどか	7				7			227
			吾を見まさぬ。	手は取らぬ。	6				8			228
			相見て汝が	あな。 吾は見れど、	6				7			229
			胸騒がずや。	君吾を見まさぬ。	7				6			230
			わが姿や	わがために、胸	6				4			231
			今衰へたる。	波立たずや。	8	(51)			8	(51)		232
		オルフェウス	あなや、	わが目も	3				10			233
			いかにせむ。	汝を動かさずや。	5				5			234
			エウリチケ。 急げ。 遅れば悔い	弱り行くわが心	14				11			235
			ありなむ。	励さむ。	4				4			236
			あはれ、真心見せむと思へど	恋人、急げ。 よしなき	15	(53)			7			237
			かなわず、あはれ、掟ゆる。	戯を	12				10	(47)		238
		エウリチケ	只一目見てよ。	エウリチケ	8				7			239
		オルフェウス	そは身の敗。	オルフェウス	7				8			240
		エウリチケ	あな。 夷。 わが夢みつる	エウリチケ	12				8			241
			幸それなりや。	夷よ。 夢みし	7				7			242
			これや情の報。	幸、それなりや、	10				8			243
			あな。 はかなの身や、	わが恋の報。	8				8			244
			わが夫の吾を見まさぬ。	あな。 身のはかなさ。	11				9			245
			吾と諸共に	我が夫我を見ぬ。	7				6			246
			喜びまさぬ。	吾と共には	7	(62)			7	(53)		247
		オルフェウス	故あり。	喜びまさぬ。	4				5			248
			な疑ひそ。	オルフェウス	6	(10)			5	(10)		249
		エウリチケ	吾を蘇らせて	エウリチケ	9				8			250
			責むや。 否。	吾をよみがへらせ、	5				6			251
			神等の恵み	責め給ふよ。	7				6			252
			受けじ。あな。	神等。 憎き	5				7			253
			うれたや。 疾く去れ。	賜物受けじ。	8	(34)			8	(35)		254
(39)		オルフェウス	いざいざ。 我にたまれよ。	エウリチケ	11		39		7			255
			いざ。 我にたまれよ。	オルフェウス	9	(9)			9	(9)		256
		エウリチケ	否。 往かじ。 死にて別れて	エウリチケ	12	(19)			8	(17)		257
			あらむ優れり。	汝と生きむより。	7				4	(4)		258
		オルフェウス	うれたや。	オルフェウス	4	(4)			5	(5)		259
		エウリチケ	別ればや。	エウリチケ	5	(5)			4			260
		オルフェウス	さな云ひそ。	オルフェウス	9				10			261
			帰りなば誠を	暗き影また汝を	5	(19)			4	(18)		262
			尽さまし。	埋めむ。	9	(9)			8	(8)		263
		エウリチケ	言へ。 などで応へぬ。	エウリチケ	7				7			264
			などで応へぬ。	オルフェウス	7				7			265
		オルフェウス	歎に死ぬとも	オルフェウス	7	(21)			7	(21)		266
			えこそ語らね。	二人	7	(18)			8			267
		エウリチケ	えこそ語らね。	神等。 賜物は	9				10	(18)		268
			あな。 御賜物をば	かしこみて受けぬれど、	9				8			269
			畏みて受けしに、	添ひたる惱ぞ	9	(15)			7	(15)		270
			畏みて受けしに、	あまりに深き。	7				12			271
			伴ふ歎の	エウリチケ	7				10			272
			伴ふ歎の	なにしかもかくは黙ある。	11				10			273
			などでさ深き。	何事をか掩へる。	8				9			274
			などでさ深き。	たひらぎの世を、強ひて	7				6			275
			あな。 恵は受けしに、	離れしめ、何すと	10				8			276
			伴ふ歎の	黙のみある。	8				7			277
			伴ふ歎の	あな。 はかなの身や、	6				6			278
			などでさ深き。	力衰へ、	7				6			279
			などでさ深き。	死の薄衣	10				11			280
			などで、などでさ深き。	目を掩へり。	5				4			281
			などさば	身内震ふ。 恐ろしさ	4				4			282
			深き。	目昏み、	3				4			283
40		エウリチケ	あな。 いかなれば、	胸裂く、	7	40?			9			284
			かく黙ある。	例なき惱に。	6				7			285

場面	第二稿		未定訳稿		音数	小計	No.	役名	詞	音数	小計	行
	楽曲No.	役名	詞	詞								
			秘事は何、		7				吾は悩に死なむ。	9		286
			やすき世を		6				何の痛、	6		287
			離れさせて、		6				何の悩、	6		288
			吾につらさ見すや。		8				死よりかく	5		289
			あなや。 はかなや。		7				醒めぬとは。	5		290
			力衰へ、		7				レエテの波は	7		291
			死の狭霧		5				古き悩を	7		292
			目をぞ覆ふ。		6	(166)			あらひしに、憂き	7	(165)	293
			あなや。 たとしへなの胸の騒よ。		-							
			これや身の終。		8				又襲ふ。	5		294
			憂きに負けて。		6	(14)			吾をののく。	6	(11)	295
									-----			296
41			・・・略・・・									
42	オルフェウス	あな。 艱(なやみ)ぞ増さる。	9	(9)	42	オルフェウス	悩に堪へじ。	7	(7)	297		
	エウリチケ	はしきオルフェウス。	9			エウリチケ	我夫。 我をな棄てそ。	11		298		
		寄らずや。	4				わが歎を	6		299		
		呼ぶ聲を	4				徒にせば、	5		300		
		聞かむとはせずや、	8				玉の緒絶えなむ。	8		301		
		汝が救い得むと。	8				助けませ、	5		302		
		神よ。 われを憐め。	10				大いなる神等。	8		303		
		かくて死ねとや、	7				我に死ねとや、	7		304		
		離れて、夫に、	7				別も告げで、	7		305		
		オルフェウス。	6	(63)			はしき夫に。	6	(63)	306		
	オルフェウス	今はわれえ堪えじ。	9			オルフェウス	今はえ堪へじ。	7		307		
		胸や裂けむ。	6				堪へ忍ぶ心	8		308		
		力抜けたり。	7				今ゆるがむとす。	8		309		
		誓も棄てむ。 女も、我身も。	15	(37)			誓をいかにせむ。	9	(32)	310		
	エウリチケ	あな。 あな。 憐め。 我は死なむ。	14	(14)		エウリチケ	あな、夫。 我死なむとす。	11	(11)	311		
	オルフェウス	やよ。 待て。	4			オルフェウス	恋人、聴け。	6		312		
		いで告げむ。	5				言はれだにせば。	7		313		
		聞け。 さはれ。	5				今幾時	6		314		
		神々。 救はずや。	9				此悩に堪へ、	8		315		
		この艱。	5	(28)			生きなむか。	5	(32)	316		
	エウリチケ	さらば。 汝がエウリチケ忘るな、さらば。	17	(17)		エウリチケ	吾を思はずや。	7	(7)	317		
	オルフェウス	あなや。 見るにも胸裂く。	11			オルフェウス	恋人の歎	7		318		
		世にこれに	5				我を責む。	5		319		
		増す艱はあらじ。	9				己みぬるよ。	5		320		
		あな。 はしき	5				物狂ほしや。	7		321		
		エウリチケ。	5	(35)			恋人よ。	5	(29)	322		
	エウリチケ	あな。 オルフェウス。	8			エウリチケ	神等。 我死ぬ。	7		323		
		われ倒る。	5	(13)			我よろめく。	6	(13)	324		
	オルフェウス	あな。 己みぬるよ。	7			オルフェウス	あな。 己みぬるよ。	7		325		
		逐はれて、恋に。	7				誘はれぬ、	6		326		
		逐はれて、恋に。	7				彼涙に。	5		327		
		はしき女、エウリチケ。	9				恋人。 エウリチケ。	9		328		
		エウリチケ、はしき女。	9				とはにあらざりぬ。	9		329		
		あな。 答せぬ。	7				我こそ汝を	6		330		
		あな。 帰り来ぬ。	7				死なしめぬれ。	6		331		
		わが。 わが	4				いかにせまし。	6		332		
		死なせつよ。	6				魂も消なむ。	6		333		
		前に増す	5				助来ず、	5		334		
		艱や。 あな。	6				望は絶えぬ。	7		335		
		堪えがたや。	5				只たとしへなき	8		336		
		かくなりぬれば、	7				哀のさまこそ	8		337		
		すべなし。	4				残りて見ゆれ。	7		338		
		死なばや、	4				いかにもなれ。	6		339		
		贖に。	5	(99)			心乱る。	6	(107)	340		
43	オルフェウス	あな。 君失せぬ、はや。	9		43		君あらずなりぬ。	8		341		
		わが幸失せぬ。	7				わが幸失せぬ。	7		342		
		など、など生まれし。	8				生れざりせば、	7		343		
		世にあるぞ憂き。	7	(31)			かからざらまし。	7	(29)	344		
		世にあるぞ憂き。	-									
		エウリチケ、エウリチケ。	10				エウリチケ。 エウリチケ。	10		345		
		やよや、応へよ。	7	(17)			神等。 聴けよ。	6	(16)	346		
		やよや。 あな。 あな。 やよや。 応へよ。	-									
		汝が夫ぞ、	5				わが名はやがて	7		347		
		汝が夫ぞ、われ。	7	(12)			歎の響ぞ。	8	(15)	348		
		あな。 君失せぬ、はや。	-									
		わが幸失せぬ。	-									
		など、など生まれし。	-									
		世にあるぞ憂き。	-									
		世にあるぞ憂き。	-									
		エウリチケ、エウリチケ。	-									
		あな。 甲斐な。 安らひ、	9				目はとはに隠れり。	9		349		
		慰め、あらず、	7				望の影だに	8		350		
		われには、	4				あらず、	3		351		
		あな。 君失せぬ、はや。	9				君あらずなりぬ。	8		352		
		わが幸失せぬ。	7				わが幸失せぬ。	7		353		
		など、など生まれし。	8				生れざりせば、	7		354		
		世にあるぞ憂き。	7	(51)			かからざらまし。	7	(49)	355		
		など、など生まれし。	-									
		あな、世にあるが、あな、あるが、	-									
		あな、あるが憂。	-									
44		艱も去れ、	6		44		いでいで。 命も	8		356		
		命と共に。	7				悩も棄てむ。	7		357		

場面	第二稿			未定訳稿			行				
	楽曲No.	役名	詞	音数	小計	No.		役名	詞	音数	小計
			我は堪へじ、	6				冥府の門邊より、	9		358
			此の神業に。	7				君が帰りにし	8		359
			黄泉の門猶開けり。	11				冥府の門邊より	9		360
			追ひ附かばや、女に。	10				遠からねば、	6		361
			エウリデケ。	5				わが道行くを待て。	9		362
			汝をこそ、妻よ、	7				はしきわが妻よ。	8		363
			吾は思へ。やよや。	8				わが至るを待て。	8		364
			待てよ。待てよや。	7				ゆめ再び	6		365
			また汝をば取られじ。	9				な渡りそ。	5		366
			とはに共に死にてあらば。	12	(95)			スチクスの川波。	9	(92)	367
		アモオル	待て。何す。	5	(5)		愛の神	待て。何す。	5	(5)	368
		オルフェウス	誰ぞ。わが死ぬるを、	8			オルフェウス	誰ぞや、此世に	7		369
			引き留むるは。	7				敢て我を留むるは、	11		370
			憂き世を去るに。	7	(22)			憂き此世に。	6	(24)	371
		アモオル	静まれよ。迷はで。待て。	11			愛の神	あな。物にな狂ひそ。	10		372
			汝が世を守る神ぞとは知らずや。	16	(27)			我を見識らずや。	8	(18)	373
							オルフェウス	汝か。今識りぬ。	-		374 ウィーン版による
								吾は何事をも	-		375 ウィーン版による
								え思はず。	-		376 ウィーン版による
								など来つる、	-		377 ウィーン版による
								甲斐なき時に。	-		378 ウィーン版による
		オルフェウス	何せよとか。	6	(6)			何すと。	4	(4)	379 ウィーン版による
		アモオル	汝が誠	5			愛の神	幸をこそ	5		380
			好く験されぬ。汝が艱	12				授けに來ぬれ。時は來ぬ。	12		381
			今果てむ。エウリデケ。	10				エウリデケ返してむ。	10		382
			醒めよ。	3				真心の	5		383
			來ぬる	3				勝をぞ得つる。	6		384
			夫に	3				見よ、女	5		385
			報せずや。	6	(42)			よみがへりたり。	7	(50)	386
		オルフェウス	あな。エウリデケ。	7	(7)		オルフェウス	こはいかに。妻よ。	8	(8)	387
		エウリデケ	あな。オルフェウス。	8	(8)		エウリデケ	夫よ。	3	(3)	388
		オルフェウス	神々よ。御恵の深さよ。	14	(14)		オルフェウス	抱かせよ。	5	(5)	389
							エウリデケ	又汝を抱きぬ。	-		390 ウィーン版による
								限なき恵や。	-		391 ウィーン版による
		アモオル	とはにまつろへよ。	8			愛の神	來よ。二人。	5		392
			いざ歸らむ。	6				まことの女夫。	7		393
			黄泉を去りて。	6				喜ある	6		394
			とはに恋の楽しさ享けよ。	13	(33)			世に伴はむ。	7	(25)	395
							オルフェウス	怜し。恵ある神よ。	-		396 ウィーン版による
							エウリデケ	あはれ、幸ある時よ。	-		397 ウィーン版による
							愛の神	わが恵む人	-		398 ウィーン版による
								憂きあらじ。	-		399 ウィーン版による
(45)		オルフェウス	たふとしや。	5		45	オルフェウス	恋のみ神。	6		400
			生けるもの皆	7				尊きかな。	6		401
			広前飾れよ。(よ。)	8				まつろはぬものなし。	9		402
			恋の幸の、	6				誰にまれ	5		403
			喜の代に心を捧げむ。	15				幸得し人	6		404
			代に心を捧げむ。	10	(51)			みなたたへごとせよ。	9	(41)	405
		(歌群)	たふとしや。	5			歌の群	恋のみ神。	6		406
			生けるもの皆	7				尊きかな。	6		407
			広前飾れよ。	8	(20)			まつろはぬものなし。	9	(21)	408
			恋の幸の、	6							
			喜の代に心を捧げむ。	15							
			代に心を捧げむ。	10							
		(アモオル)	争に。	5			愛の神	な恨みそ。	5		409
			恨みに	4				な争ひ。	5		410
			胸は悩めども、	8				恋する人々よ。	9		411
			忽ち和みぞ、楽しさぞ歸り來る。	18			オルフェウス	恨みても、束の間に	10		412
			楽しさぞ歸り來る。	10	(45)			其恨忘れ果つ。	10	(39)	413
		(歌群)	たふとしや。	5			歌の群	恋のみ神。	6		414
			生けるもの皆	7				尊きかな。	6		415
			広前飾れよ。	8	(20)			まつろはぬものなし。	9	(21)	416
			恋の幸の、	6							
			喜の代に心を捧げむ。	15							
			代に心を捧げむ。	10							
		(エウリデケ)	妬は傷けれど、	9			オルフェウス	妬は傷けれど、	10		417
			誠にぞ歸る。	8				誠ぞそを癒す。	9		418
			疑の苦きも、その跡は甘し。	17			エウリデケ	悩ましつる怒も	10		419
			その跡は甘し。	8	(42)			誓をぞ固むる。	9	(38)	420
		(歌群)	たふとしや。	5			歌の群	恋のみ神。	6		421
			生けるもの皆	7				尊きかな。	6		422
			広前飾れよ。	8	(20)			まつろはぬものなし。	9	(21)	423
			恋の幸の、	6							
			喜の代に心を捧げむ。	15							
			代に心を捧げむ。	10							
			たふとしや。	5							
			生けるもの皆	7							
			広前飾れよ。	8							